

岡崎市 籠田公園整備工事

植栽管理に関する取扱説明書

studio on site

2019年12月

目次

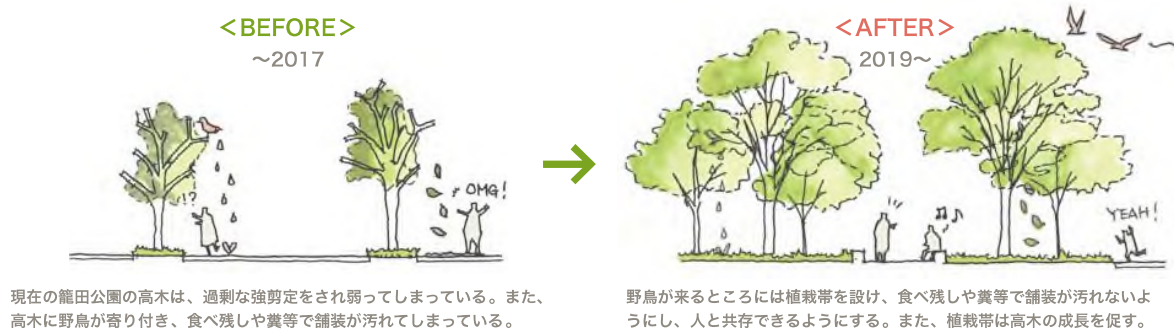
1. 全体植栽コンセプト	…	1
2. 各ブロックの植栽の考え方	…	2
3. 植栽管理に関する注意事項—高木植栽	…	3
4. 植栽管理に関する注意事項—中低木地被植栽	…	14
5. 植栽管理に関する注意事項—共通	…	18
6. 植栽管理に関する注意事項—芝生	…	19
7. 高木植栽平面図	…	22
8. 中低木地被植栽平面図	…	24

1. 全体の植栽コンセプト

「籠田公園を含む、天下の道全体が緑豊かな空間となることを目指す」

以前の籠田公園・中央緑道は過剰な強剪定等により樹木が弱っていましたが、本計画では樹木を大きく育て、緑が多い環境をつくりたいと考えています。

- ・緑陰の下の気持ち良い居場所をつくります。
- ・岡崎市のシンボル公園として、歴史と風格のある大きな樹木へ育てます。
- ・まちへの愛着につながるよう、季節感のある植栽計画としています。
- ・樹木や野鳥など、生き物と市民の共存を目指します。



○ 生物多様性をはぐくむ緑の回廊「エココリドー」

上記の植栽の考え方について、市民の理解を得られるように、以下の内容をサイン看板として籠田公園に設置しています。

乙川沿いの大きな自然を街中の籠田公園の小さな自然につなげる緑の回廊「エココリドー」を計画しています。緑は、生きものに食べ物や住みかを提供するだけでなく、木陰の気持ちの良い居場所や地球温暖化、空気の清浄などにも貢献してくれています。

籠田公園には、この地域にもともと生えていた植物を中心に、四季折々にさまざまな表情を魅せてくれる緑を植えています。どんな植物があるのか、またそこにどんな生き物が集まるのかを学び楽しみながら、緑を自然な形で大きく育てましょう！

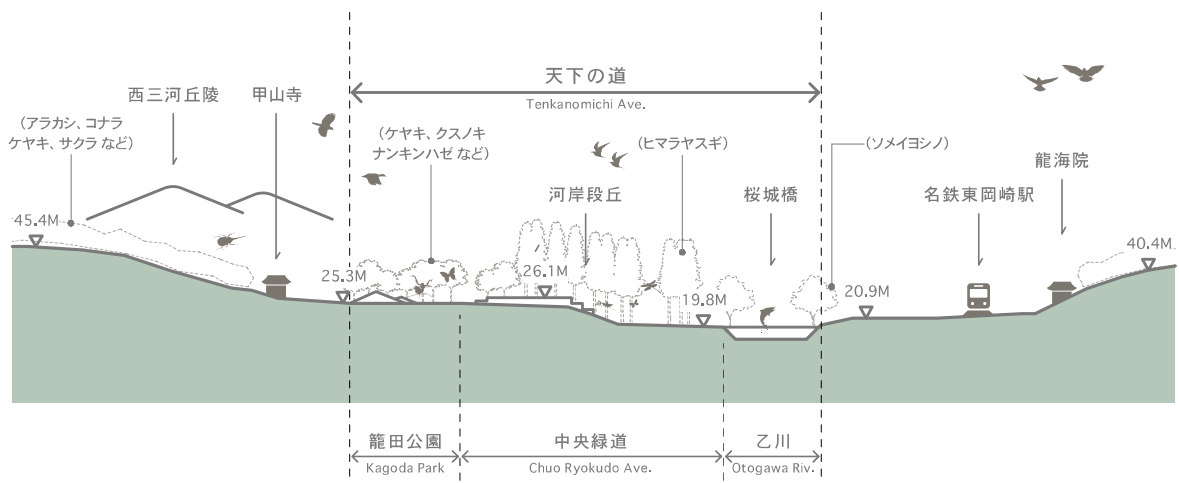
< 籠田公園に植えている主な植物 >

○ 高木

イロハモミジ、エゴノキ、オオシマザクラ、カキノキ
ケヤキ、シダレザクラ、センダン、マユミ
ムシカリ(オオカメノキ)、ヤマザクラ、ヤマボウシ
アラカシ、ソヨゴ、ヤブツバキ、クスノキ
ナンキンハゼ、マテバシイ など

○ 低木・地被植栽

サツキツツジ、ヤマブキ、ヤブラン
シャガ など



2. 各ブロックの植栽の考え方

○ A1ブロック

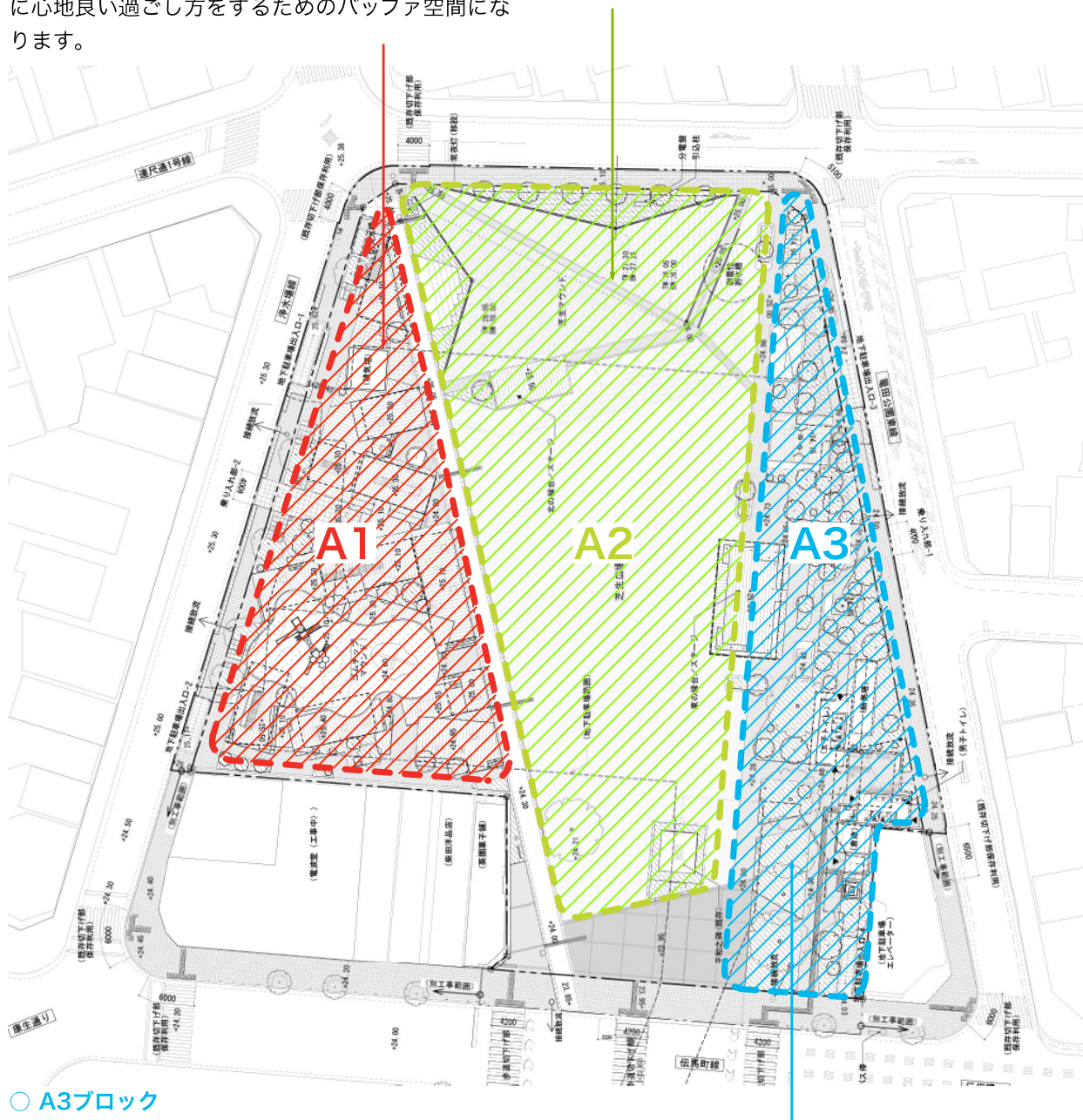
旧東海道に面した「まち」の縁側空間

- ・「庭」のような身近で柔らかい印象を与える植栽エリアです。
- ・植栽が適度な距離感をつくり、利用者同士が互いに心地良い過ごし方をするためのバッファ空間になります。

○ A2ブロック

「まちのシンボルとしての芝生広場」

籠田公園の芝生は2011年から市民の手で大切に管理されてきた経緯があり、この公園・まちのシンボルです。



○ A3ブロック

芝生広場と対で活きる緑陰の広場

- ・芝生広場と対で活きる緑陰の広場です。既存樹を活かしつつ新植高木を植え、大きな緑陰をつくる計画をしています。
- ・緑陰の広場は、東の縁台/ステージの背景であり、道路を挟んだ民地とのバッファ空間となります。
- ・高木の下に植える低木植栽は、耐陰性に強く、管理頻度が少なく丈夫なものを植えています。

- ・高木の下は高木の成長を促し、落ち葉や野鳥の糞等の清掃をやすくするため、大きい植栽帯としています。多少舗装面に野鳥の糞が落ちていることがありますが、共存を目指しているため、野鳥を追い出すような強剪定はしないでください。

3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

植栽の健全な成長、景観の維持、安全の確保のため、以下の点をお守りください。

■ 高木植栽の剪定（長期管理育成方針）

○強剪定はせず、自然樹形の大きな高木に育てる

強剪定を行うと樹勢を弱めるだけでなく、景観の弱体化を招きます。本資料に基づき自然樹形を尊重した剪定を行ってください。剪定は下記の「育成管理」と「抑制管理」とを使い分けて剪定を行ってください。

1) 育成管理：高木を自然樹形で大きく育てる

- ・ 樹幹、枝葉の育成、萌芽促進が目的
- ・ 自然樹形を基本に将来形を想定し、骨格となる枝の生育を促す
- ・ 通行の支障となる下枝を予め切除しておく
- ・ 芯止め、切詰剪定は基本的に行わない
- ・ 障害枝は、全体の樹形を考慮しつつ枝抜きする
- ・ 枯枝や病害のある枝は、幹際から切除する
- ・ 連続する樹木の高さや枝張り、下枝高さなど、統一感を意識する
- ・ 安全上の理由から見通しが良くなるように、H1.5m以下の下枝は切除する。

2) 抑制管理：自然樹形の大きな樹木を維持する

- ・ 枝葉の整形、樹形の維持が目的
- ・ 葉を透くことで光合成をコントロールし、成長を抑制する
- ・ 自然樹形を基本として樹冠の外形を定め、透かし剪定程度の軽度な剪定を行う
- ・ 混み合った枝を整理し、全体の樹形を考慮しつつ枝抜きする
- ・ 連続する樹木の高さや枝張り、下枝高さなど、統一感を意識する
- ・ スタジオ等建物に干渉する場合は、自然樹形を崩さないように考慮しつつ枝を切除する。

※育成管理、抑制管理の方法については江戸川区街路樹指針を参考

3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

✕ 自然樹形を無視した強剪定



枝を極端に切ることにより弱っていく樹木



切った箇所より腐朽菌が内部に入り込み倒れる危険性の高まっている樹木

3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

○ 自然樹形を尊重し、枝葉を透かした弱剪定（事例）



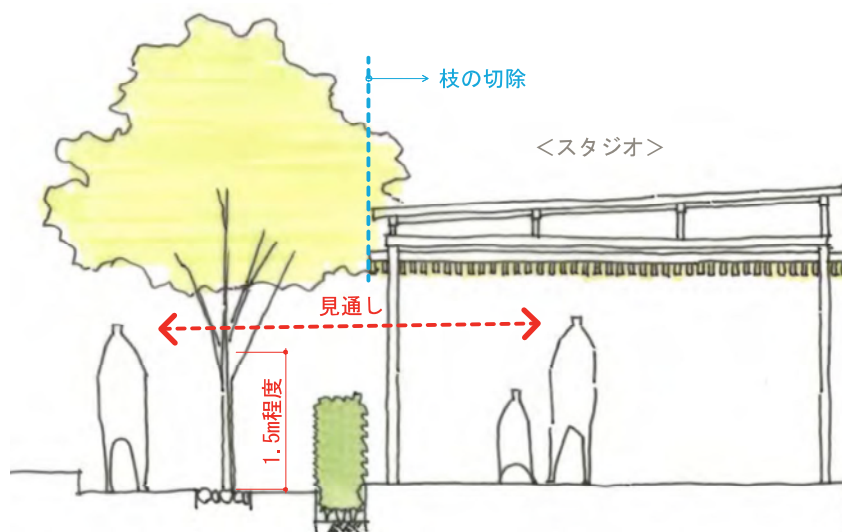
多治見虎溪用水広場（岐阜県多治見市）



オガール広場（岩手県紫波町）

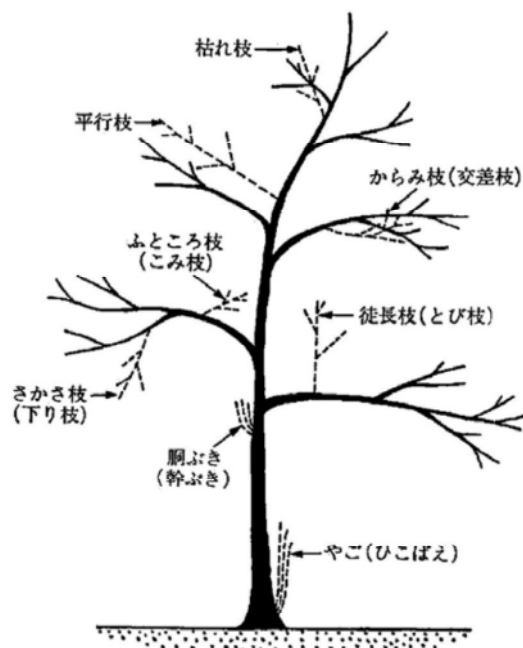
3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

○参考イメージ図



○参考：剪定方法

※「抜き剪定」とは、混みすぎている部分の枝を間引く剪定です。
枝の途中で切り取ると切口から小枝が出て樹形を乱す原因になるので、枝の付け根で切り取るようにしてください。



<基本剪定図>

3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

○防犯カメラとの関係について

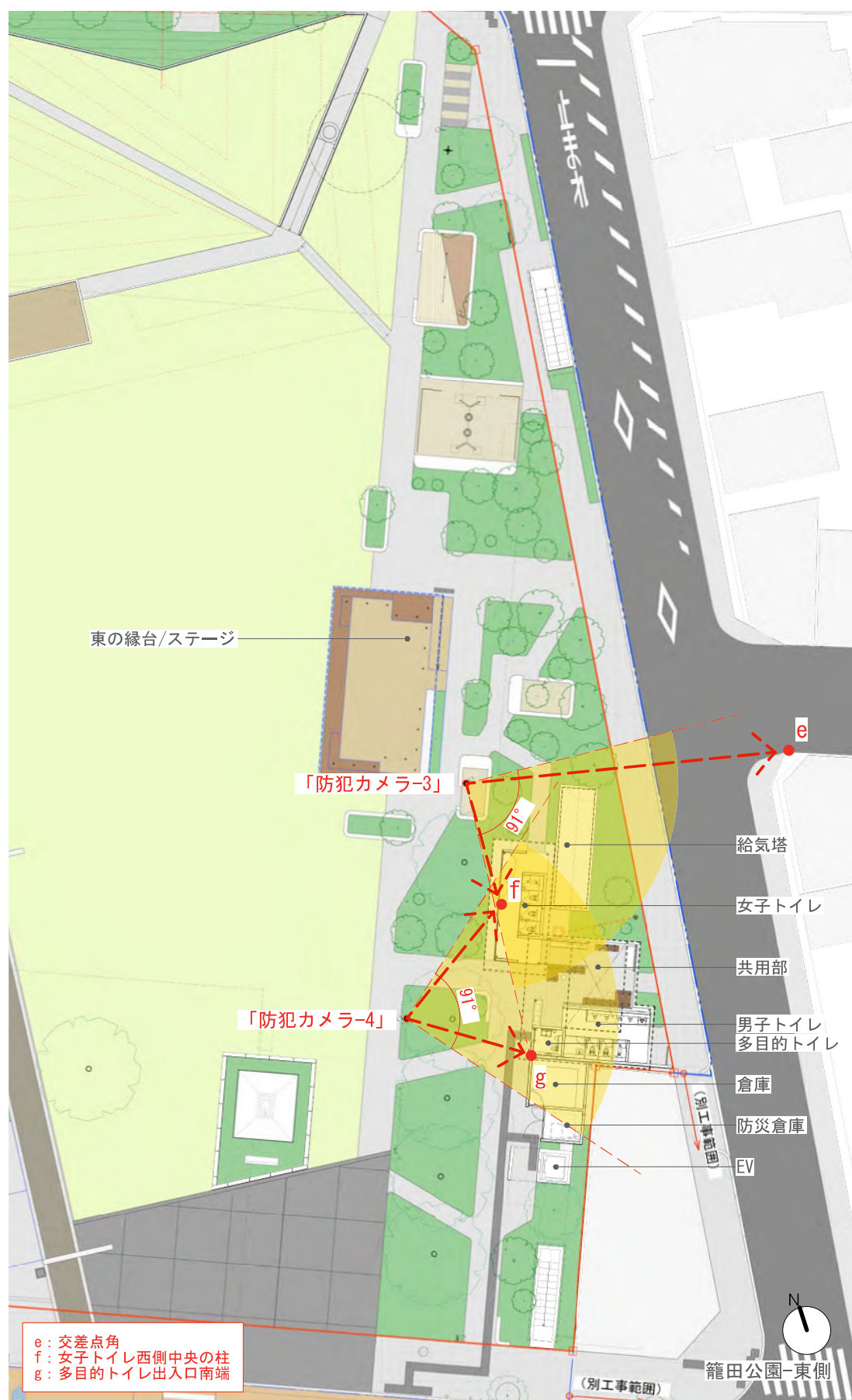
籠田公園には計4台の防犯カメラがあります。高木植栽によって遮られてしまい、安全上危険な場合は、対象の高木の枝葉の切除・すき剪定を行ってください。

各防犯カメラから以下範囲が映ることを目安としてください。

- ・防犯カメラ-1：a点(排気塔北西角)～b点(スタジオNo.5東側・北側から2本目の柱)
- ・防犯カメラ-2：c点(スタジオNo.5東側・南側から2本目の柱)～d点(スタジオNo.10西側・南側から1本目の柱)
- ・防犯カメラ-3：e点(交差点角)～f点(女子トイレ西側中央の柱)
- ・防犯カメラ-4：f点(女子トイレ西側中央の柱 以上)～g点(多目的トイレ出入口南端)



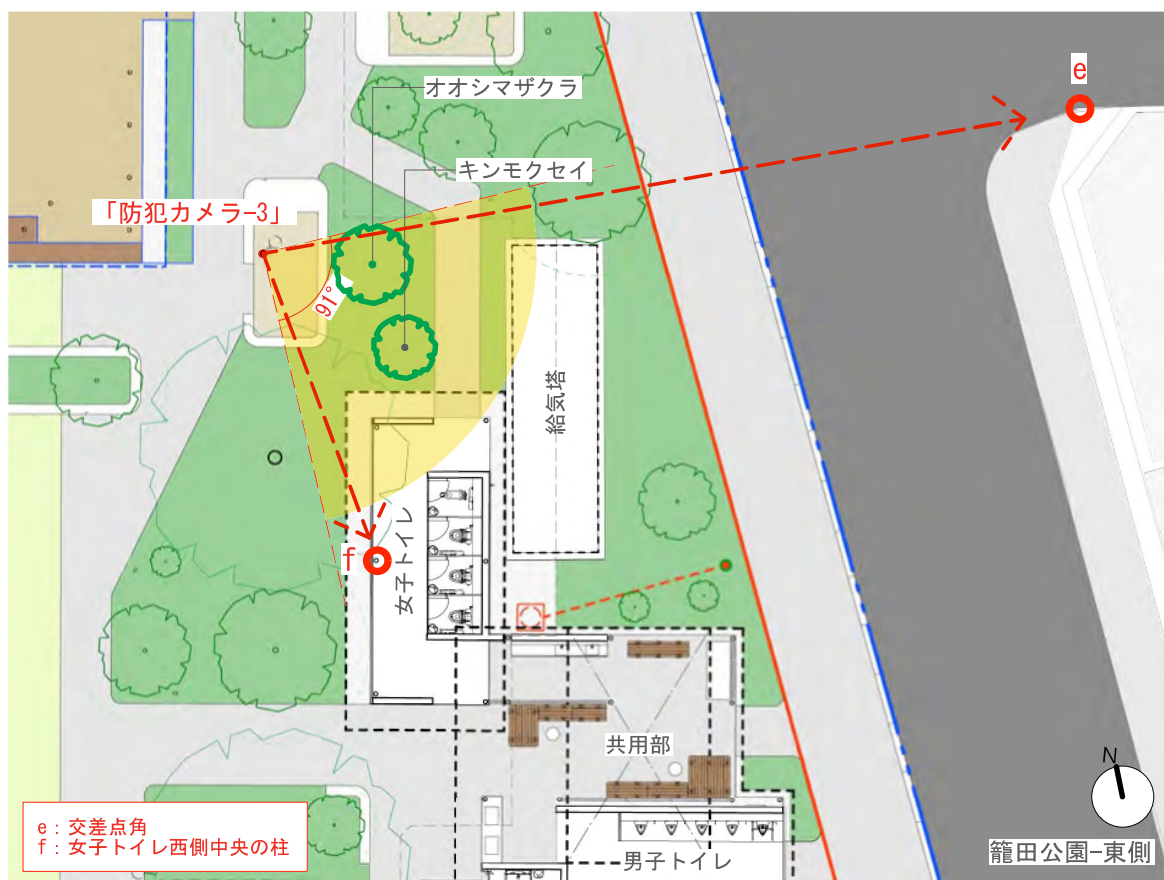
3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽



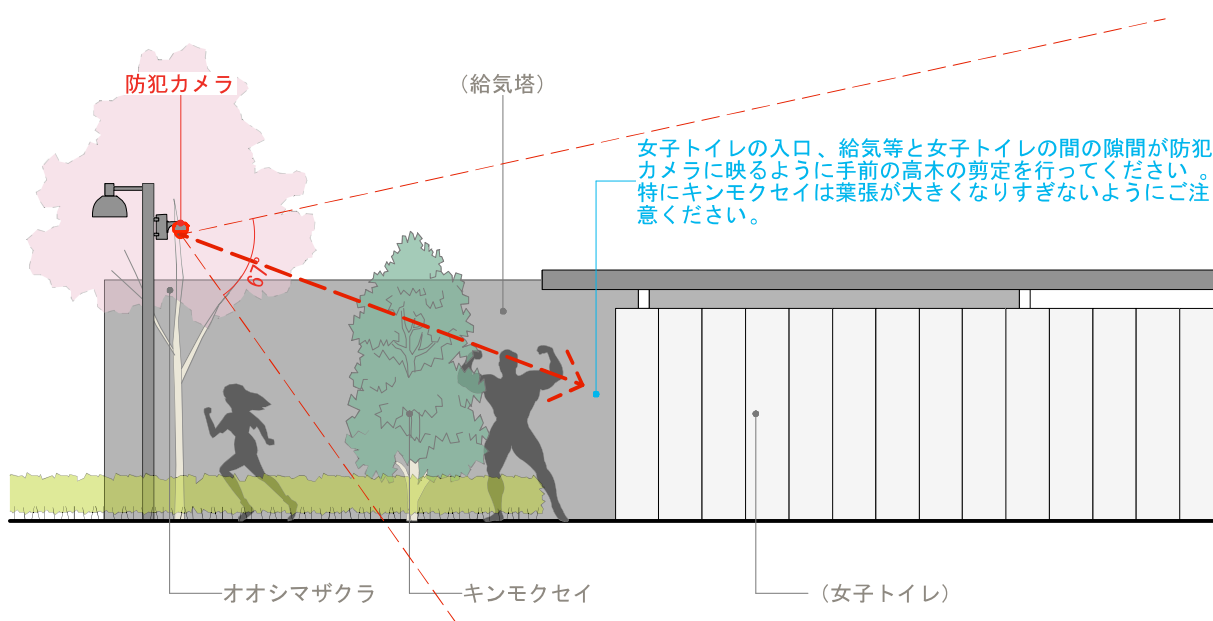
3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

○防犯カメラ-3

[拡大平面図]



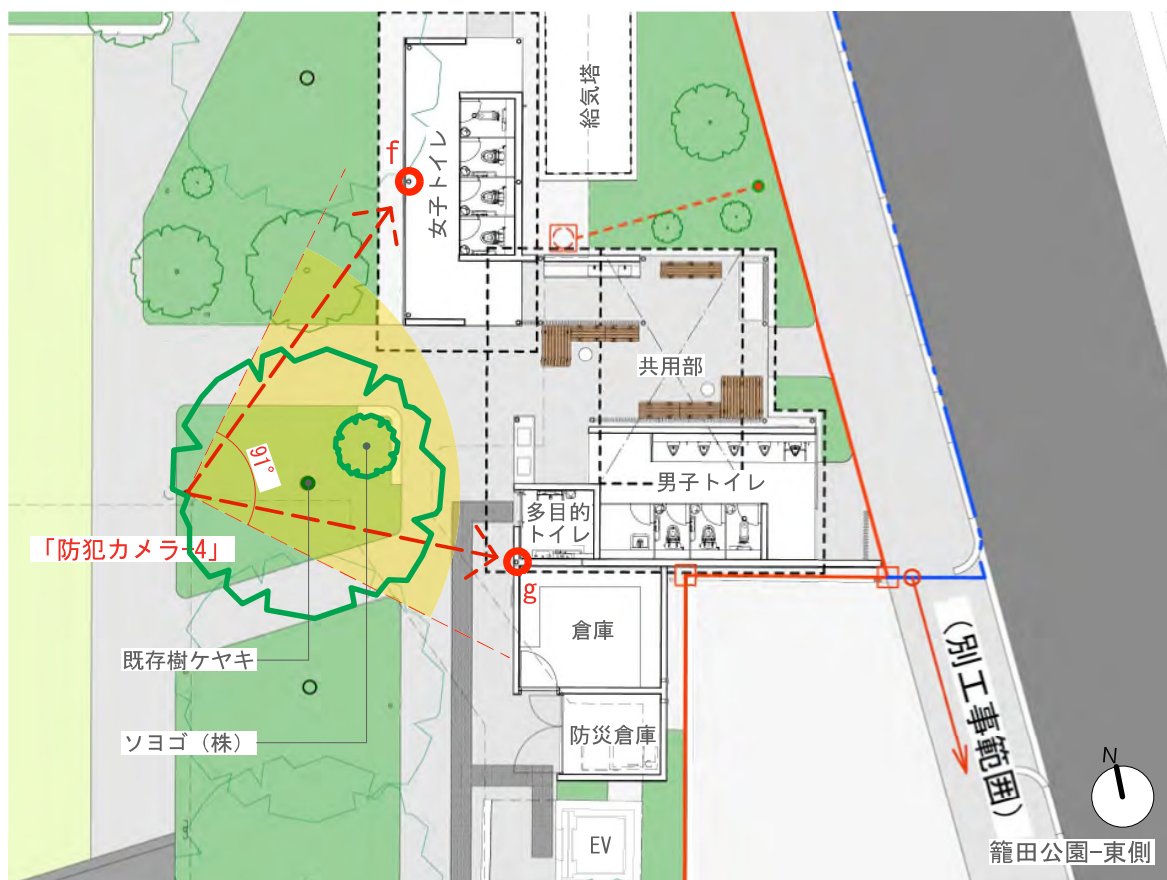
[立面図]



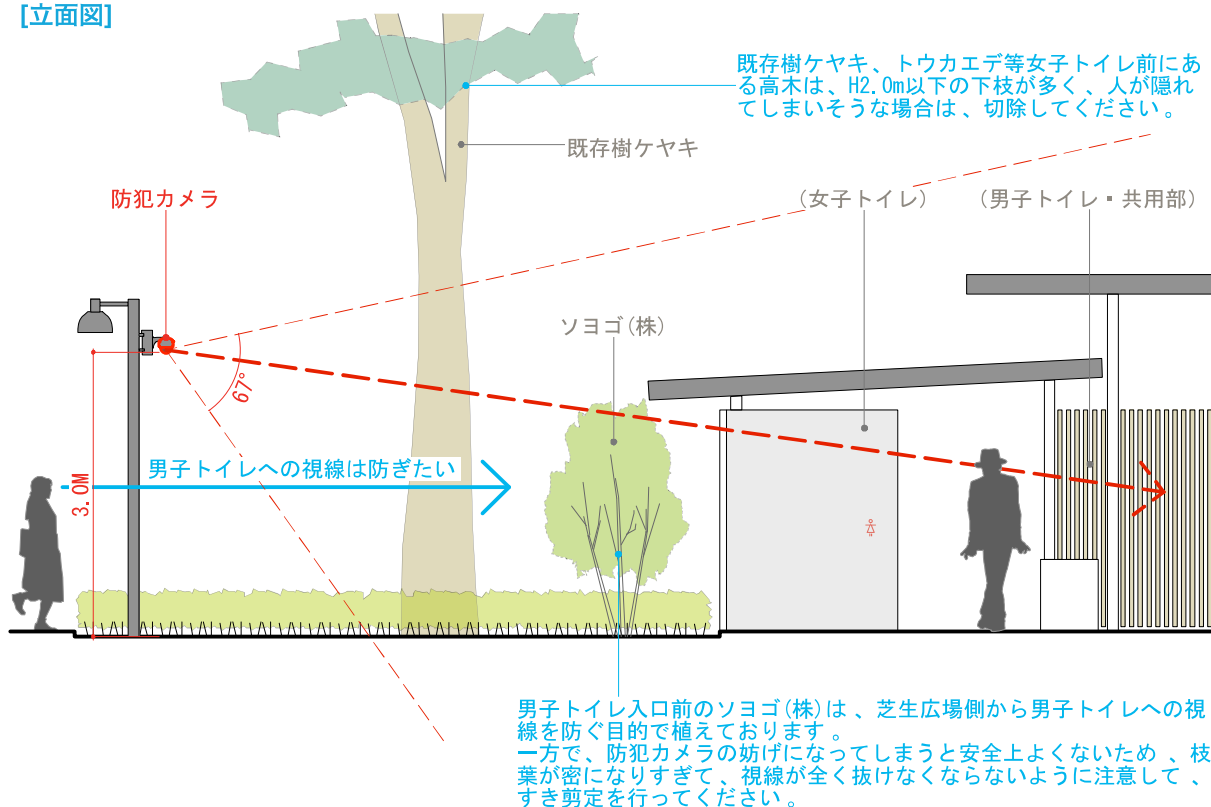
3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

○防犯カメラ-3

[拡大平面図]



[立面図]

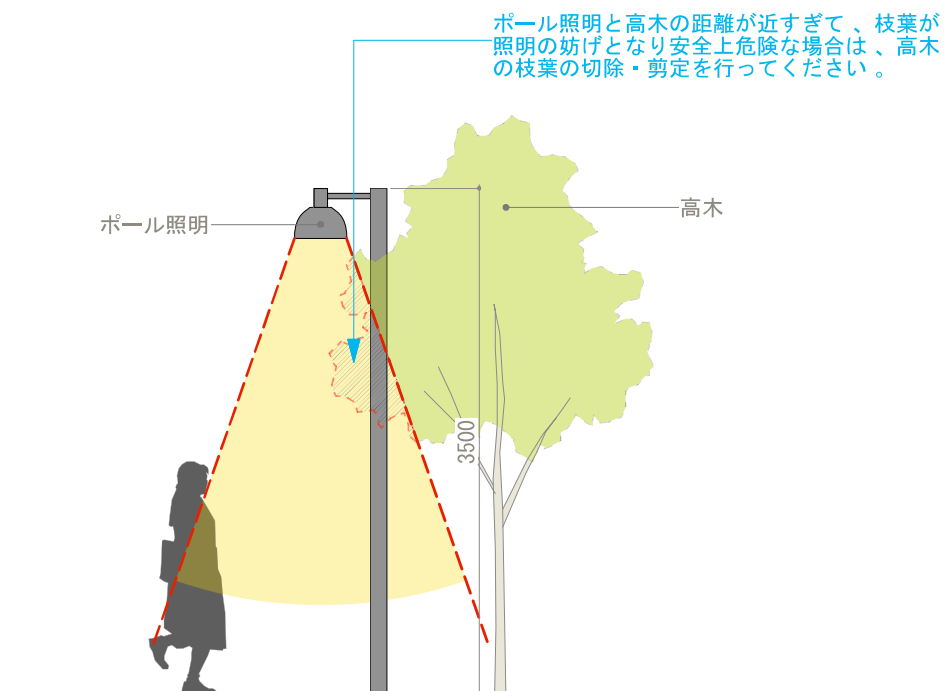


3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

○照明との関係について

ポール照明と高木の距離が近く枝葉が照明の妨げとなり、安全上危険な場合は、高木の枝葉の切除・剪定を行ってください。

※特にご注意頂きたい箇所については、次ページ以降の図面と写真を参照をお願い致します。



3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽



3. 植栽管理に関する注意事項 一高木植栽

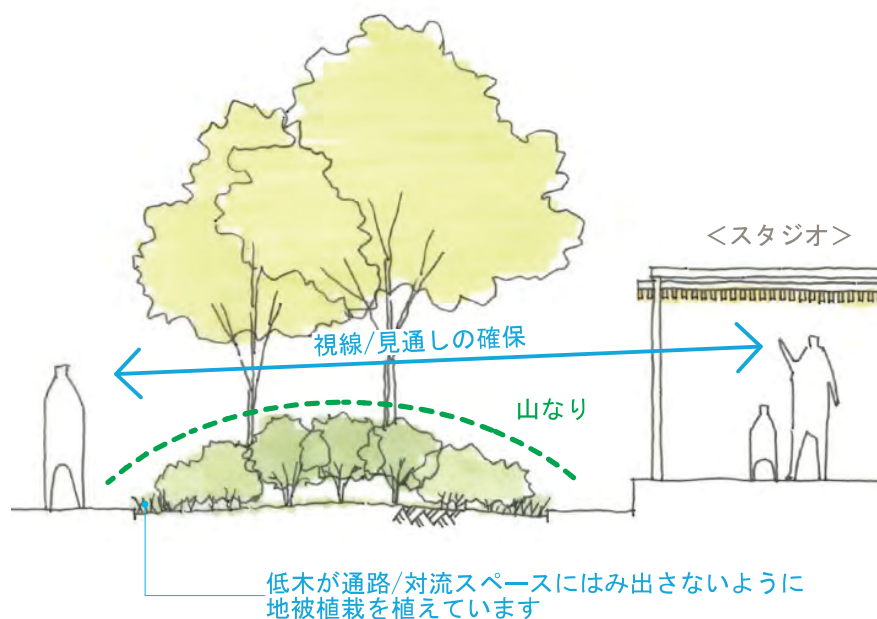


4. 植栽管理に関する注意事項 一中低木地被植栽

■ 中低木地被植栽の刈込み

○刈込み（共通）について

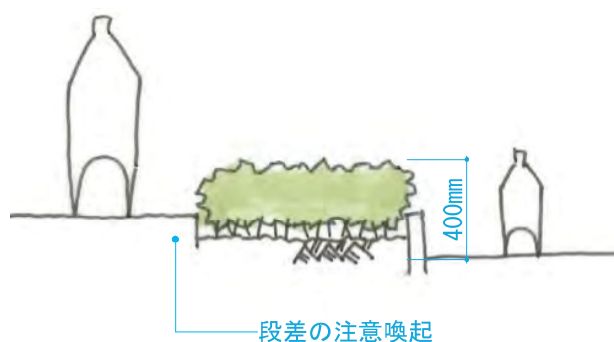
年2回程度の刈込みを行い、樹種に合わせた一定高さを保つようにして下さい。（花木は花芽の分化時期に注意してください）また、大きな植栽帯は、植栽が立体的に見えるように植栽帯中央に向かって山なりの形になるように刈込みを行ってください。



○注意喚起について

段差下にある植栽帯は段差の注意喚起として低木植栽を植えているため、段差から+200mm以上を保つように刈り込みをしてください。

※植栽高さについては、上記を踏まえた上で樹種毎の適正な高さで刈り込むこと

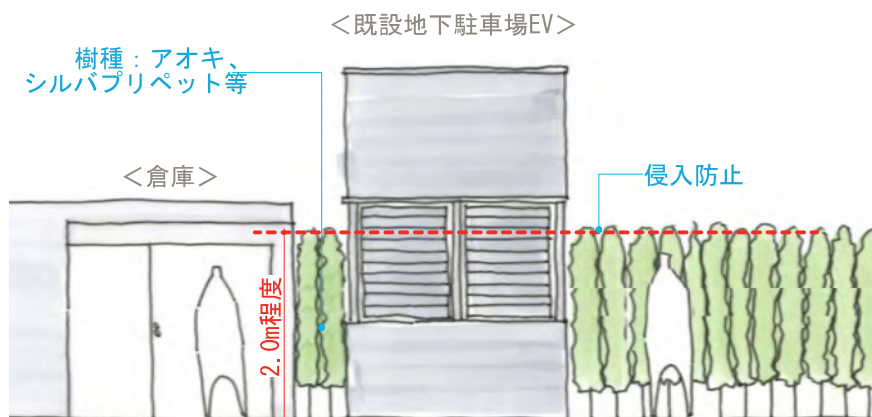


4. 植栽管理に関する注意事項 一中低木地被植栽

○侵入防止について

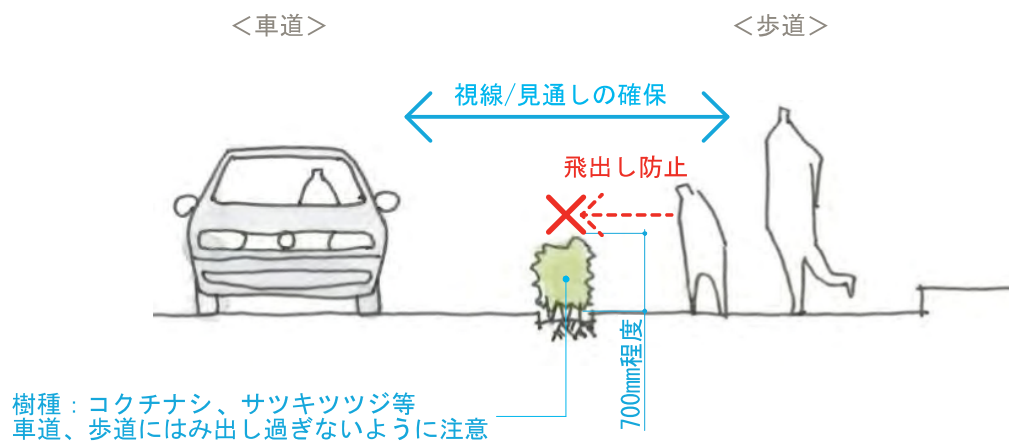
侵入防止を目的として、低木植栽を植えているため、H2000mm程度の高さを保つように刈り込みを行なってください。

該当箇所：地下駐車場EV、階段等



○飛び出し防止について

人が公園から道路や交差点に飛び出さないように低木植栽を植えているため、H700mm程度を目安に植栽が密になるように考慮して刈込みを行なってください。大きくなりすぎ、人が隠れてしまう/見えづらくなってしまうと安全上危ないため、ご注意ください。また、側面は車道・歩道にはみ出し過ぎないように刈込む。

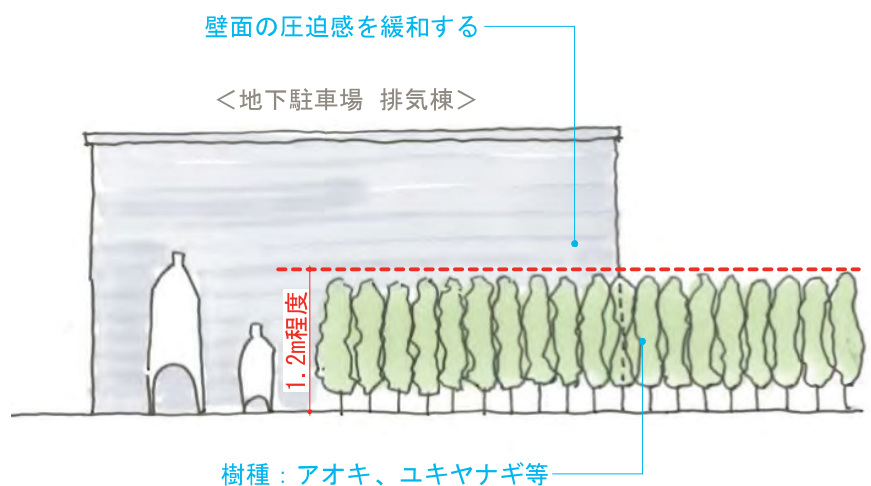


4. 植栽管理に関する注意事項 一中低木地被植栽

○目隠しについて

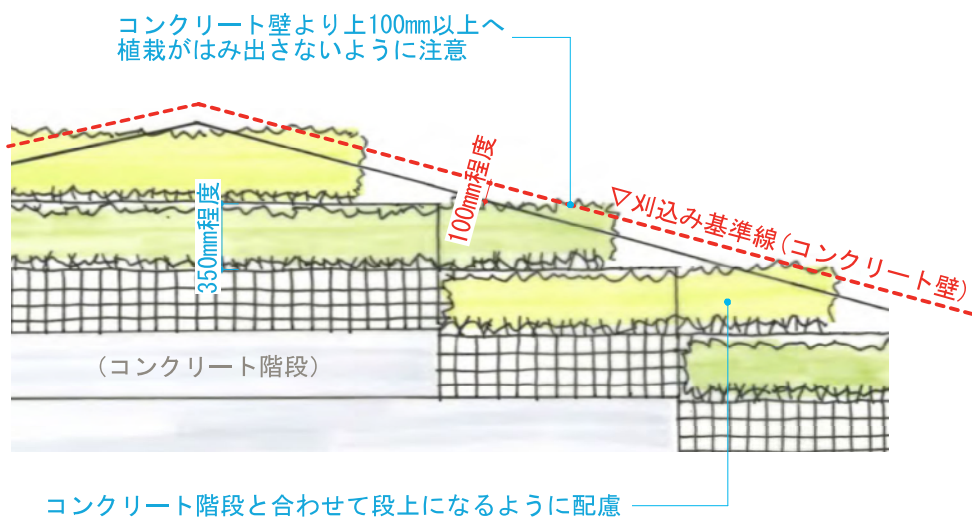
背後の壁面を隠すために植えているので、高さはH1.2m程度を目安に刈り揃え、ある程度高さを保ってください。

該当箇所：地下駐車場排気棟、給気棟、EV等



○縁段について

段として綺麗に見えるようにH350mmを目安に一定の高さで管理してください。また意匠上、コンクリートの壁より上100mm以上へ植栽がはみ出さないように注意してください。

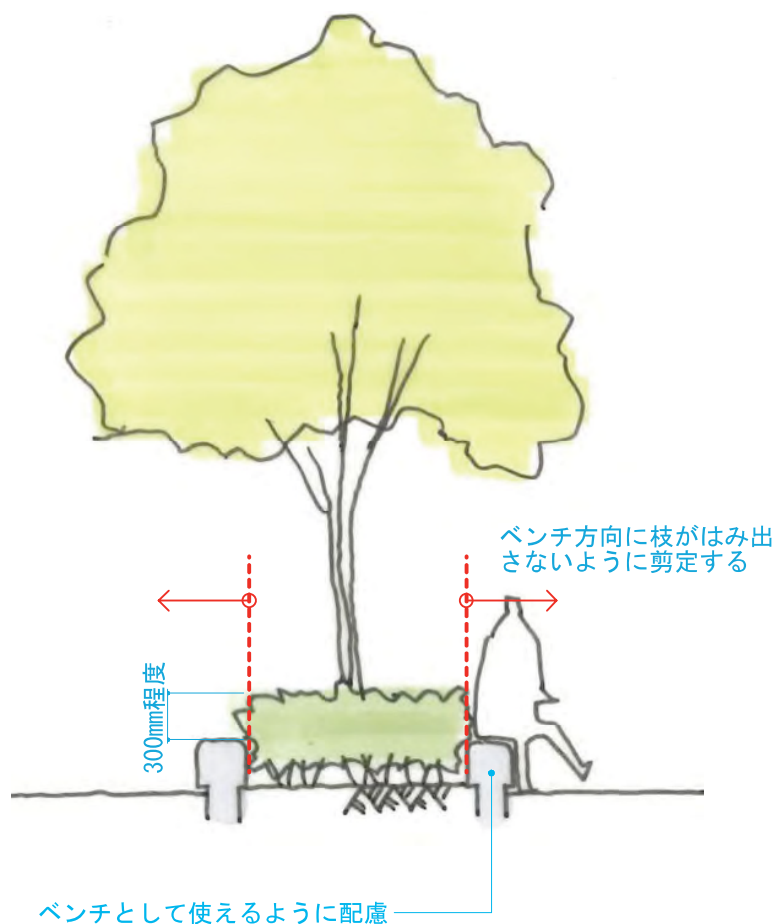


4. 植栽管理に関する注意事項 一中低木地被植栽

○コンクリートベンチについて

ベンチとして機能するように植栽が座面へはみ出してきたら、切除してください。

また、コンクリートベンチに囲まれた植栽帯は排水性に心配があるため、特にご注意いただくようお願いいたします。



5. 植栽管理に関する注意事項 ー共通

■ 施肥

樹木が健全に生育し美しい姿を保たせるため、病害虫や風害等に対する抵抗力を増進させるために、年1回以上の施肥を行って下さい。

■ 病害虫防除

病気や害虫により樹木が著しく損傷を受けたり、美観を損ねるのを防止するために、薬剤散布（発生前後）や患部除去（発生後）等を行って下さい。

■ 灌水

植物の枯損を防止するために、気温、湿度、降水量に応じて適切な回数、量の灌水を行って下さい。土壌中の水分が多くなりすぎると枯死することもありますので、過湿状態には注意が必要です。

■ 除草

植物の保護、美観維持のために、雑草の抜き取りや刈り取りを行って下さい。春から秋にかけては2ヶ月に1回程度の除草が必要です。

■ 支柱

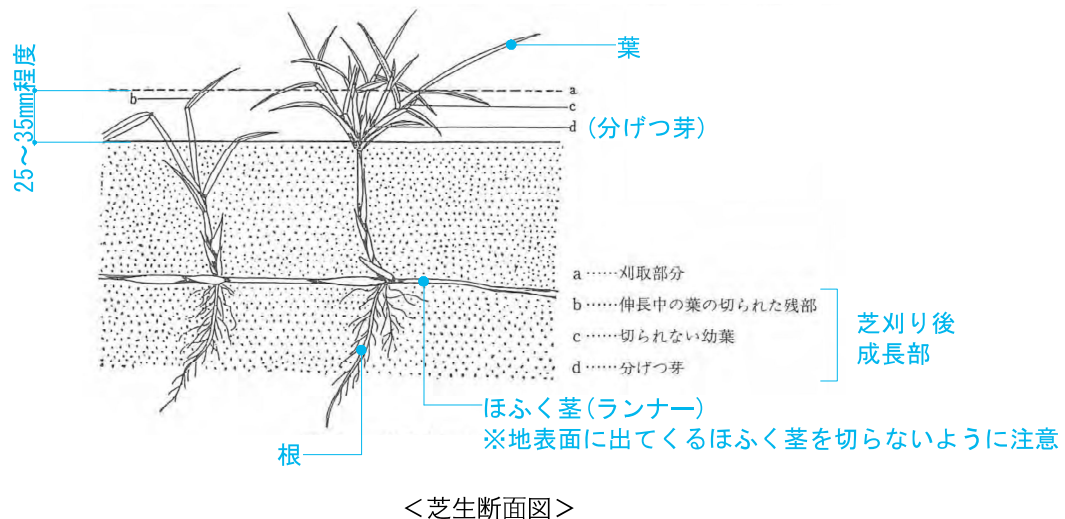
幹が支柱に食い込んだりした際は、根付いていることを確認した後に支柱を撤去してください。

6. 植栽管理に関する注意事項 一芝生植栽

■ 芝生管理

籠田公園の芝生の草種は「ティフトン（バミューダグラスの仲間）」です。

芝生の良好な育成のために、下記を参考に季節に合わせて芝刈り、施肥、除草、病害虫対策、エアレーション、目土かけ、灌水を行って下さい。



○芝刈りについて

- ・シーズン時はこまめに刈込む程鮮やかな緑となり、密度も増します。4～10月頃までの間は、最低月1回程度を目安に刈ってください。
- ・刈り高は25～35mm程度とし、低めに一定の高さを維持してください。
- ・伸ばしすぎ、また低刈りはどちらも芝生にダメージを与えてしまいますので、ご注意ください。
- ・軸刈り(ほふく茎刈り)してしまった際は、乾燥しやすいため散水をこまめに行ってください。

○施肥について

- ・肥料（化成肥料等）は月1回程度、殺虫・殺菌も月1回程度散布した方が芝生を良好に維持できます。（ただし、梅雨時期は避けてください。）
- ・肥料濃度が濃すぎると芝生が濃度障害を起こして枯れてしまうため、肥料等の散布にはご注意ください。
- ・秋の休眠前にも施肥を行ってください。

○散水について

- ・夏は、1日2回朝夕に十分に散水し、春・秋は1～2日に1回程度散水してください。
- ・1回の散水は根が十分に吸水できるくらいに行ってください。

○更新作業について

- ・透水性・通気性を高めるため、年2回程度エアレーションによる穴あけ、目砂入れを行ってください。
※特にイベント等で地面が踏み固められる可能性が高い場所
- ・年1回程度バーチカルカット及びサッチ・古葉の集草を行ってください。
- ・更新作業を怠ると、通気性・透水性の低下、発芽不良、ドライスポットの頻発、乾燥及び高温への弱体化、病害及び害虫の被害増加、浅根化等の問題が発生する可能性があるため、ご注意ください。
- ・ダメージを負った芝生があれば養生を行い、回復をさせるようにしてください。

6. 植栽管理に関する注意事項 一芝生植栽

○芝生管理の参考年間スケジュール

※次項「芝生管理の参考年間スケジュール表(目安)」を合わせて参照

<3～4月>

この時期から芝生が青々とした葉を茂らせます。ある程度芝生が伸びたら、25～30mm程度を目安に刈り込んでください。深く刈り込みすぎないようにご注意ください。

<5～6月>

芝生が成長し、旺盛に茂ってきます。鮮やかで密な芝生とするため、月に最低1回を目安に刈り込んでください。合わせて、あちこちから伸びてくる雑草も抜いてください。また、梅雨になると病害虫の発生しやすくなってきます。芝生が蒸れやすい時期のため、芝刈りをした後は、葉屑を竹ぼうき等で綺麗に取り除いてあげることが、病害虫の予防になります。

<7～8月>

この時期は芝生が最も成長する時期です。この時期は月に最低2回程度を目安に刈り込んでください。また、病害虫の被害も多い時期なので、警戒を緩めないようにご注意ください。なお、暑い時期ということもあり、水撒きを怠らず水を十分にあげるようご注意ください。

<9～10月>

段々と芝生の成長が衰えていきます。引続き月に最低1回程度を目安に刈り込んであげてください。水やりを怠らないようにもご注意ください。秋の気配とともに、芝生は休眠期に入り徐々に茶色に変化します。冬の休眠期には、週に1度程度を目安に水やりを行ってください。また、休眠に入る前に施肥を行ってください。

<11～2月>

芝生が休眠状態のため、葉が枯れ茶色になります。この状態でも芝生の根は土の中で生き続けているので、乾き過ぎていれば水やりを行い、春までお待ちください。

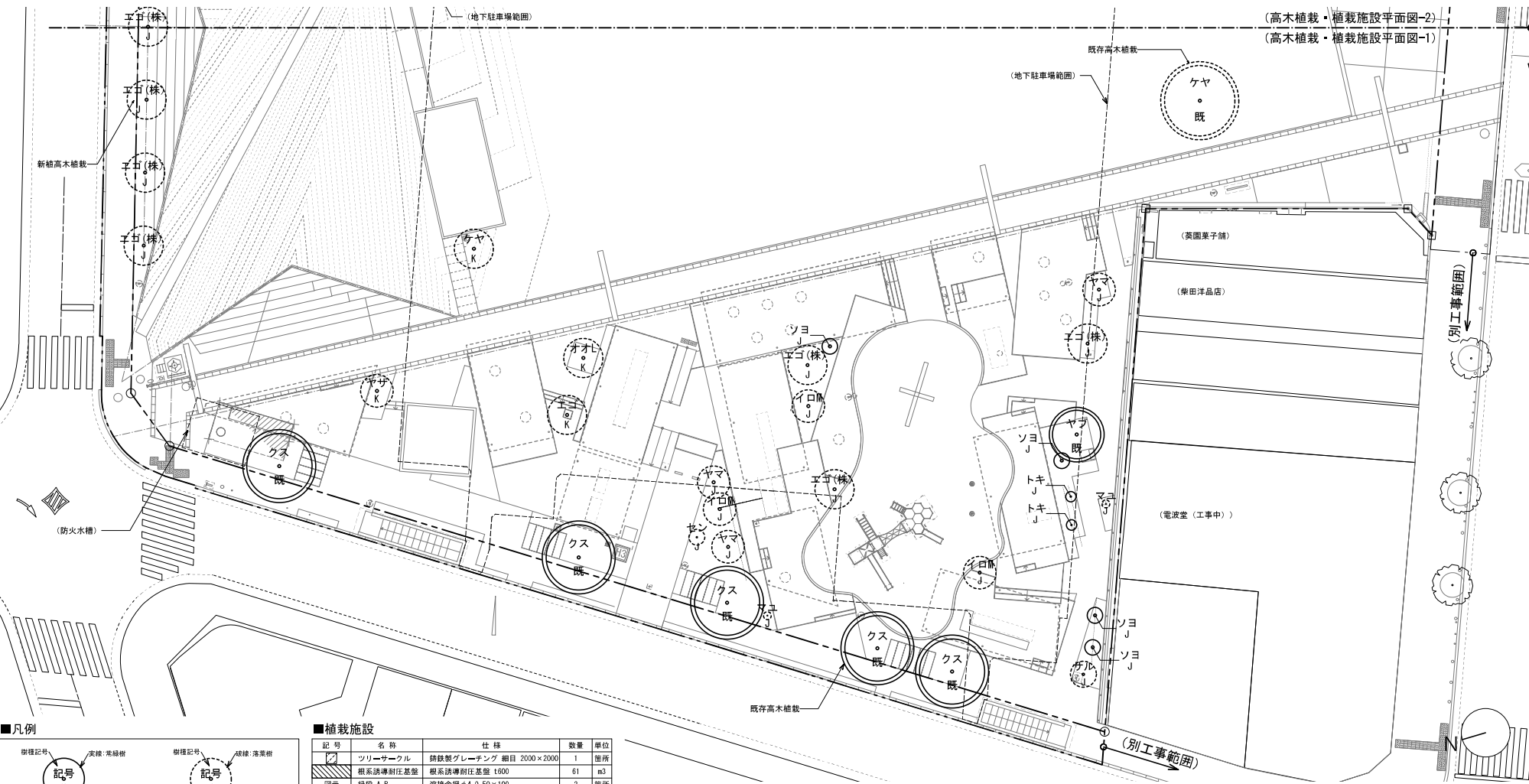
6. 植栽管理に関する注意事項 一 芝生植栽

○芝生管理の参考年間スケジュール表(目安)

工種	種別	作業期間 ()内は回数												回数	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
樹木管理	剪定、整枝(落葉高木)											(1)		1	自然樹形を保ちながら剪定
	剪定、整枝(常緑高木)						(1)							1	自然樹形を保ちながら剪定
	生垣、低木刈込み						(1)					(1)		2	一定高さを保つように刈込み
	施肥(高木)	(1)												1	植栽後3～5年まで、生育状況による
	施肥(中低木)	(1)												1	植栽後3～5年まで、生育状況による
	病虫害防除(高木)			(1)		(1)			(1)		(1)			4	
	病虫害防除(中低木)			(1)		(1)			(1)		(1)			4	
	灌水				-----									随時	降水状況により判断、主に夏季、植樹後の活着期間
	除草					(1)		(1)		(1)		(1)		4	
	枯損木の処理													随時	
芝生管理	芝刈り				(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(1)	(1)			9	高さ目安25～35mm程度 ※軸刈り(ほふく茎)しないようにご注意ください。
	施肥					(1)						(1)		2	濃過ぎて濃度障害等にならないよう注意
	除草			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		9	
	除草剤散布					(1)						(1)		2	
	病虫害対策							(1)	(1)	(1)				3	
	エアレーション、目土かけ			(1)			(1)							2	
	灌水				-----									随時	降雨状況により週1～2回程度 ※梅雨は蒸れやすいので芝刈り後の葉屑等が残らないよう表面を綺麗に上げてください。
その他	清掃、巡回													随時	定期的に週2～3回程度

7. 高木植栽平面図-1/2

S=1:300



■凡例

樹種記号
実線:常緑樹
樹種記号
破線:落葉樹

支柱タイプ
地下支持支柱
地上支持支柱

■植栽施設

記号	名称	仕様	数量	単位
□	ツリーサークル	鋼鉄製グレーチング 網目 2000×2000	1	箇所
■	根系誘導耐圧基盤	根系誘導耐圧基盤 1800	61	m2
○	鋼管	鋼管 4.0φ 50×100	2	箇所

■高木植栽

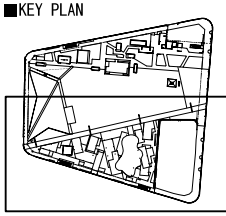
種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
落葉樹	イヌ	イヌシデ (株)	6.0	0.30	3.0	2	本
	イロ	イロハモミジ L	6.0	0.35	3.0	1	本
	イロ	イロハモミジ M	4.0	0.30	2.5	6	本
	エゴ	エゴノキ (株立)	4.0	0.40	3.0	9	本
	エゴ	エゴノキ	6.0	0.30	3.0	1	本
	オオ	オオシマザクラ L	6.0	0.35	3.0	2	本
	オオ	オオシマザクラ M	4.0	0.30	2.5	3	本
	カキ	カキノキ	3.5	0.30	1.5	1	本
	カキ	カキノキ	4.0	0.30	1.5	1	本
	カリ	カリ	3.0	0.15	1.0	1	本

種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
落葉樹	ケヤ	ケヤキ	6.0	0.40	3.0	2	本
	コブ	コブシ	5.0	0.30	1.8	1	本
	サル	サルズベリ	6.0	0.3	2.0	1	本
	シダ	シダレザクラ	6.0	0.30	2.0	1	本
	セン	センダン	4.0	0.2	1.2	3	本
	トウ	トウカエデ	8.0	0.30	3.0	1	本
	ヒト	ヒトツバタゴ	3.5	0.21	1.5	2	本
	ヒメ	ヒメシャラ	4.0	0.21	1.0	1	本
	マユ	マユミ	2.0	0.25	0.6	2	本
	ムシ	ムシカリ (オオカメノキ)	2.5	-	-	2	本

種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
落葉樹	ヤザ	ヤマザクラ	5.0	0.3	2.5	1	本
	ヤマ	ヤマボウシ	5.0	0.25	2.5	3	本
	アラ	アラカシ	6.0	0.40	3.5	4	本
	キン	キンモクセイ	3.5	0.21	1.2	2	本
	サカ	サカキ	2.5	-	0.5	4	本
常緑樹	シラ	シラカシ	6.0	0.30	3.0	5	本
	ソヨ	ソヨゴ (株)	3.0	-	1.2	6	本
	トキ	トキワマンサク	5.0	0.20	0.8	2	本
	トキ	トキワマンサク	4.0	0.20	0.8	-	本
	トキ	トキワマンサク	4.0	0.30	1.5	-	本

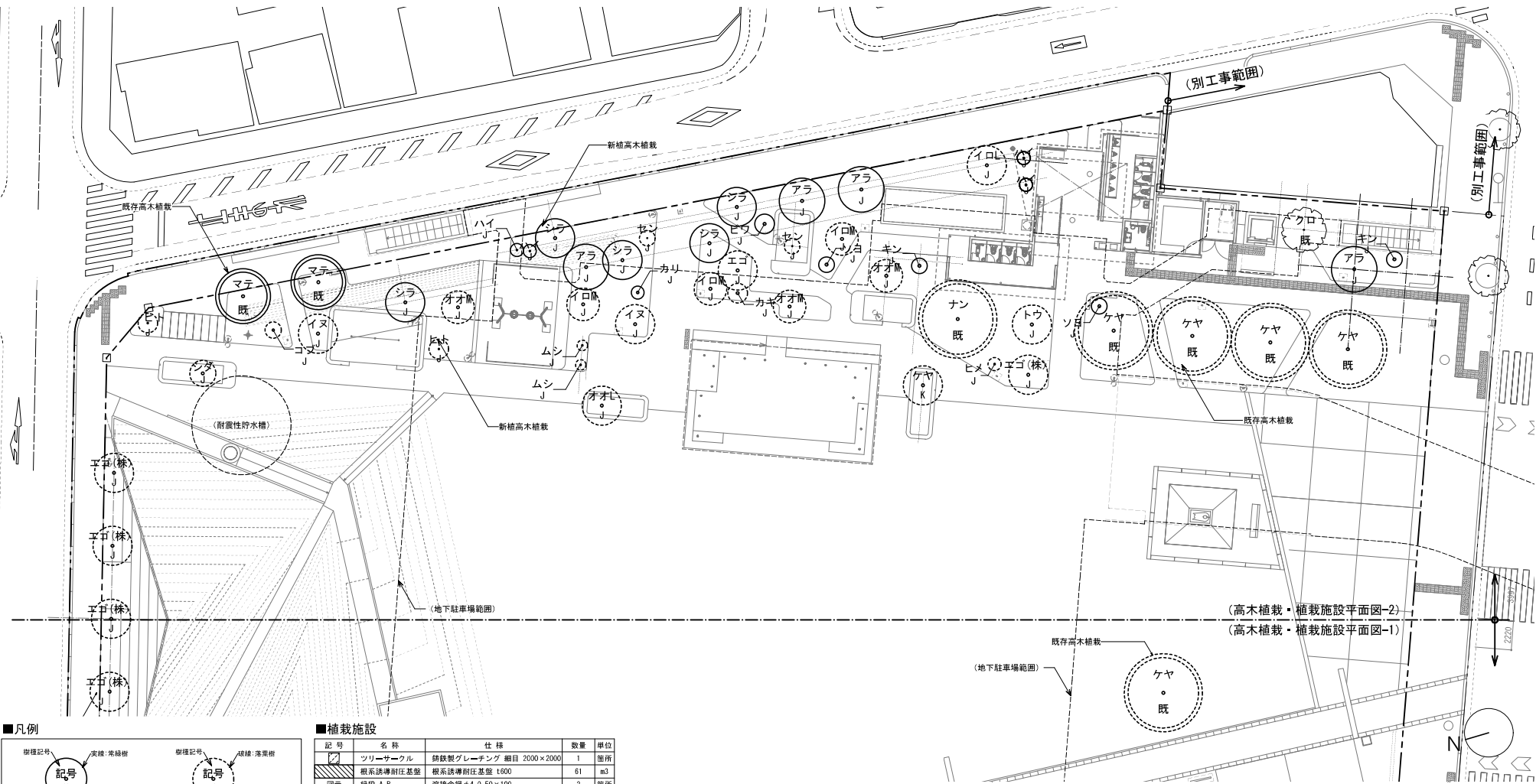
※龍田公園合計の数量を表記

種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
常緑樹	ハイ	ハイノキ (株)	2.0	-	0.8	4	本
	ビワ	ビワ	3.0	-	1.5	1	本
	ヤブ	ヤブツバキ	4.5	0.3	2.0	-	本
	クス	クスノキ	-	-	-	5	本
	ケヤ	ケヤキ	-	-	-	5	本
既存樹	ナン	ナンキンハゼ	-	-	-	2	本
	ヒマ	ヒマラヤスギ	-	-	-	-	本
	マテ	マテバシイ	-	-	-	2	本
	ヤエ	ヤエザクラ	-	-	-	-	本
	ヤブ	ヤブツバキ	-	-	-	2	本

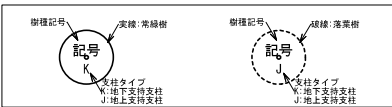


7. 高木植栽平面図-2/2

S=1:300



■凡例



■植栽施設

記号	名称	仕様	数量	単位
□	ツリーセーブル	鋼鉄製グレーチング 網目 2000×2000	1	箇所
■	根系誘導耐圧基礎	根系誘導耐圧基礎 1800	61	m ²
○	線路-A-B	溶接金網φ4.0 50×100	2	箇所

■高木植栽

種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
落葉樹	イヌ	イヌシデ (株)	6.0	0.30	3.0	2	本
	イロ	イロハモミジ L	6.0	0.35	3.0	1	本
	イロ	イロハモミジ M	4.0	0.30	2.5	6	本
	エゴ	エゴノキ (株立)	4.0	0.40	3.0	9	本
	エゴ	エゴノキ	6.0	0.30	3.0	1	本
	オオ	オオシマザクラ L	6.0	0.35	3.0	2	本
	オオ	オオシマザクラ M	4.0	0.30	2.5	3	本
	カキ	カキノキ	3.5	0.30	1.5	1	本
	カサ	カサ	6.0	0.30	3.0	-	本
	カリ	カリ	3.0	0.15	1.0	1	本

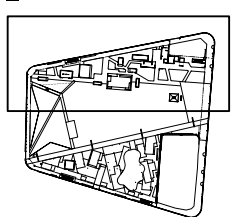
種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
落葉樹	ケヤ	ケヤキ	6.0	0.40	3.0	2	本
	コブ	コブシ	5.0	0.30	1.8	1	本
	サル	サルスベリ	6.0	0.3	2.0	1	本
	シダ	シダレザクラ	6.0	0.30	2.0	1	本
	セン	センダン	4.0	0.2	1.2	3	本
	トウ	トウカエデ	8.0	0.30	3.0	1	本
	ヒト	ヒトツバタゴ	3.5	0.21	1.5	2	本
	ヒメ	ヒメシャラ	4.0	0.21	1.0	1	本
	マユ	マユミ	2.0	0.25	0.6	2	本
	ムシ	ムシカリ (オオカメノキ)	2.5	-	-	2	本

種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
常緑樹	ヤザ	ヤマザクラ	5.0	0.3	2.5	1	本
	ヤマ	ヤマボウシ	5.0	0.25	2.5	3	本
	アラ	アラカシ	6.0	0.40	3.5	4	本
	キン	キンモクセイ	3.5	0.21	1.2	2	本
	サカ	サカキ	2.5	-	0.5	4	本
	シラ	シラカシ	6.0	0.30	3.0	5	本
	ソヨ	ソヨゴ (株)	3.0	-	1.2	6	本
	トキ	トキワマンサク	5.0	0.20	0.8	2	本
	トキ	トキ	3.0	0.20	0.8	-	本
	トキ	トキ	3.0	0.20	0.8	-	本

種類	記号	名称	仕様			数量	単位
			H	C	W		
常緑樹	ハイ	ハイノキ (株)	2.0	-	0.8	4	本
	ビワ	ビワ	3.0	-	1.5	1	本
	ヤブ	ヤブツバキ	4.5	0.3	2.0	-	本
	クス	クスノキ	-	-	-	5	本
	ケヤ	ケヤキ	-	-	-	5	本
	ナン	ナンキンハゼ	-	-	-	2	本
	ヒマ	ヒマヤスギ	-	-	-	-	本
	マテ	マテバシ	-	-	-	2	本
	ヤエ	ヤエザクラ	-	-	-	-	本
	ヤブ	ヤブツバキ	-	-	-	2	本

※籠田公園合計の数量を表記

■KEY PLAN



8. 中低木地被植栽平面図-1/2

S=1:300



■中低木

記号	樹種	規格	面積 (m ²)	数量	単位	植栽密度/仕様
KK	コクチナシ	0.3	48.2	289	株	6株/m ²
ST	サツキツツジ	0.4	89.1	356	株	4株/m ²
SB	シャリンバイ	0.5	43.1	172	株	4株/m ²
NS	ハマヒサカキ	0.6	22.0	88	株	4株/m ²
MS	マサキ	0.8	64.1	321	株	5株/m ²
MK	ナンテン	0.6	30.0	180	株	6株/m ²
NT	ヒイラギナンテン	0.5	44.5	223	株	5株/m ² 3本立
HN	ホソバヒイラギナンテン	0.4	66.5	266	株	4株/m ² 3本立
HH	シルバープリペット	0.5	158.0	632	株	4株/m ²
SP	セイヨウアジサイ	0.4	33.8	203	株	6株/m ² 3本立
DT	ドウダンツツジ	0.8	34.3	206	株	6株/m ² 3本立

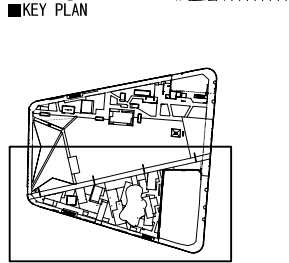
※龍田公園合計数量を表記

記号	樹種	規格	面積 (m ²)	数量	単位	植栽密度/仕様
YK	ユキヤナギ	0.8	47.0	282	株	6株/m ² 3本立
ON	オタフクナンテン	0.3	15.0	135	株	9株/m ²
SK	サルココッカ	0.3	22.4	202	株	9株/m ²
AK	アオキ	0.8	32.8	131	株	4株/m ²
SA	セイヨウアジサイ	0.8	49.8	149	株	3株/m ² 3本立
DT	ドウダンツツジ	0.6	48.7	199	株	4株/m ²
YB	ヤマブツジ	1.2	32.1	128	株	4株/m ²

■地被

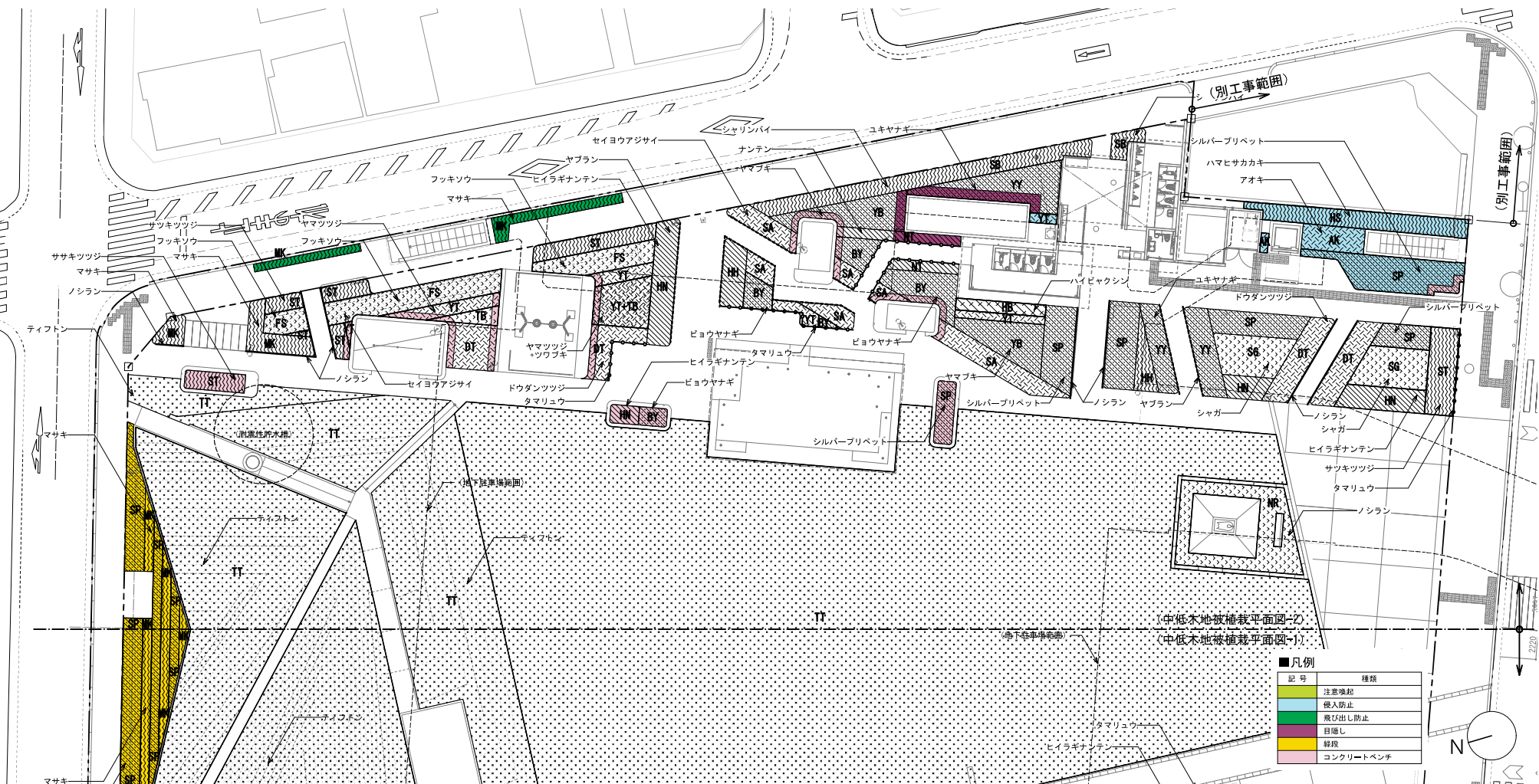
記号	樹種	規格	数量	単位	数量	単位	植栽密度/仕様
TT	ティフトン	※	2608	m ²	—	株	ローラ芝、改良土、排水層
NS	ノシラン	0.3	67.9	m	217	株	12, 0spot 3.2株/m W=200
YB	ヤマブツジ	0.3	36.8	m ²	589	株	— 16株/m ²
YB	ヤマブツジ	0.3	65.0	m	208	株	10, 5spot 3.2株/m W=200
YB	ヤマブツジ	0.05	51.7	m	259	株	7, 5spot 5株/m W=200
YB	ヤマブツジ	0.3	4.6	m ²	115	株	7, 5spot 25株/m ²
YB	ヤマブツジ	0.3	0	m	0	株	※ ※ ※ W=200
YB	ヤマブツジ	0.3	21.8	m ²	262	株	— 12株/m ²
YB	ヤマブツジ	0.3	32.9	m ²	526	株	10, 5spot 16株/m ²
YB	ヤマブツジ	0.3	19.17	m ²	307	株	10, 5spot 16株/m ²
YB	ヤマブツジ	0.1	43.0	m ²	688	株	9, 0spot 16株/m ²
YB	ヤマブツジ	0.15	※	m ²	※	株	9, 0spot 25株/m ²

※中低木地被設置範囲にはマルチング(仕様は詳細図参照)を全面に敷設すること。



8. 中低木地被植栽平面図-2/2

S=1:300



■中低木

記号	樹種	規格		面積 (m ²)	数量	単位	植栽密度/仕様
		H	W				
TT	コクチナン	0.3	0.2	48.2	289	株	6株/m ²
ST	サツキツツジ	0.4	0.5	89.1	356	株	4株/m ²
SB	シャリンバイ	0.5	0.4	43.1	172	株	4株/m ²
NS	ハマヒサカキ	0.6	0.5	22.0	88	株	4株/m ²
MS	マサキ	0.8	0.3	64.1	321	株	5株/m ²
NK	ナンテン	0.6	0.3	30.0	180	株	6株/m ²
NT	ヒイラギナンテン	0.5	0.3	44.5	223	株	5株/m ² 3本立
HN	ホソバヒイラギナンテン	0.4	0.3	66.5	266	株	4株/m ² 3本立
NH	シルバープリペット	0.5	0.3	158.0	632	株	4株/m ²
SP	タマリユウ	0.4	0.3	33.8	203	株	6株/m ² 3本立
BY	ビヨウヤナギ	0.8	0.3	34.3	206	株	6株/m ² 3本立
YB	ヤマブキ						

※龍田公園合計数量を表記

記号	樹種	規格		面積 (m ²)	数量	単位	植栽密度/仕様
		H	W				
YK	ユキヤナギ	0.8	0.5	47.0	282	株	6株/m ² 3本立
OT	オタフクナンテン	0.3	0.3	15.0	135	株	9株/m ²
SK	サルココッカ	0.3	-	22.4	202	株	9株/m ²
AK	アオキ	0.8	0.6	32.8	131	株	4株/m ²
SA	セイヨウアジサイ	0.8	-	49.8	149	株	3株/m ² 3本立
DT	ドウダンツツジ	0.6	0.3	49.7	199	株	4株/m ²
YT	ヤマツツジ	1.2	0.5	32.1	128	株	4株/m ²

■地被

記号	樹種	規格		数量	単位	数量	単位	植栽密度/仕様
		H	W					
TT	ディフトン	※	※	2608	m ²	-	株	ローランド、改良土、排水層
NT	ノシラン	0.3	※	67.9	m	217	株	12, 0spot 3.2株/m W=200
SB	ヤブラン	0.3	※	36.8	m ²	589	株	16株/m ²
NT	タマリユウ	0.05	※	65.0	m	208	株	10, 5spot 3.2株/m W=200
NT	ハイビヤクシン	0.3	0.3	51.7	m	259	株	7, 5spot 5株/m W=200
SB	シャガ	0.3	※	4.6	m ²	115	株	7, 5spot 25株/m ²
SB	ツウブキ	0.3	※	0	m	0	株	※ ※ ※ ※ ※ W=200
YB	フッキソウ	0.1	※	21.8	m ²	262	株	- 12株/m ²
YK	ヤブコウジ	0.15	※	32.9	m ²	526	株	10, 5spot 16株/m ²
				19.17	m ²	307	株	10, 5spot 16株/m ²
				43.0	m ²	688	株	9, 0spot 16株/m ²
				※	m ²	※	株	9, 0spot 25株/m ²

※中低木地被設置範囲にはマルチング(仕様は詳細図参照)を全面に敷設すること。

■KEY PLAN

